

地域ヘルスケア産業支援ファンド 運用状況について

株式会社 地域経済活性化支援機構

Regional Economy Vitalization Corporation of Japan
(REVIC)

2014年10月30日

「日本再興戦略」における地域ヘルスケア産業支援ファンドの位置づけ

「日本再興戦略」改訂 2014

—未来への挑戦—

平成 26 年 6 月 24 日

戦略市場創造プラン 国民の健康寿命の延伸にて

②ヘルスケア産業を担う民間事業者等が創意工夫を発揮できる市場環境の整備

- ・ヘルスケア産業に対して資金供給及び経営ノウハウの提供等を行い、新たなビジネスモデルの開発・普及を促していくため、地域経済活性化支援機構(REVIC)において、「地域ヘルスケア産業支援ファンド（仮称）」を年度内に創設し、地域におけるヘルスケア産業の創出・拡大の支援を図る。

*P95

出資構成

投資事業有限責任組合

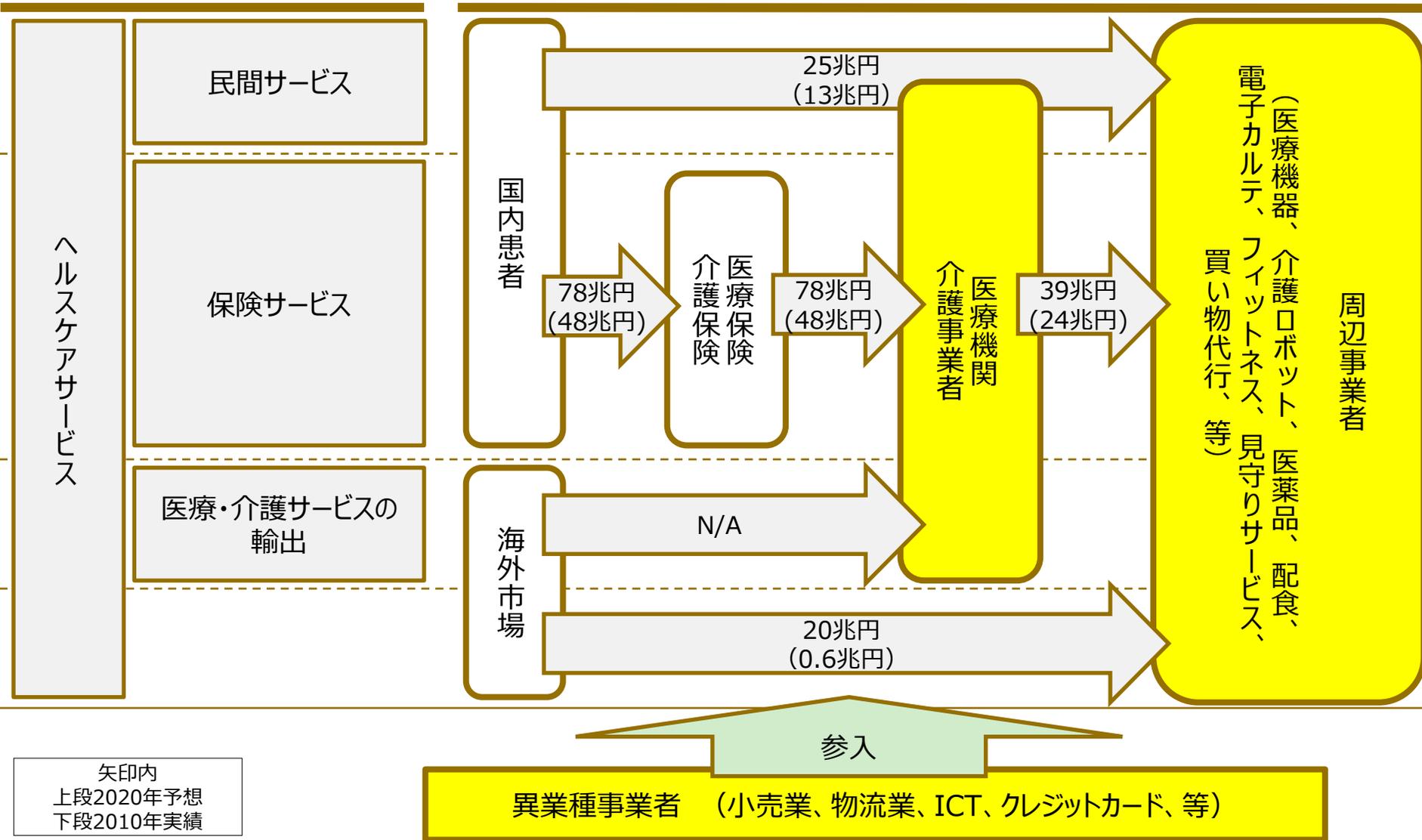
ファンド総額 50-100億円	Final Closing 2014年11月末(予定) 26.5-76.5億円	<u>LP出資</u> REVIC、及び各地域金融機関等が出資検討中
	First Closing 2014年9月1日 23.5億円	<u>GP出資</u> REVICキャピタル AGSコンサルティング <u>LP出資</u> みずほ銀行 福岡銀行 常陽銀行 横浜銀行 横浜キャピタル 西日本シティ銀行 千葉銀行

支援対象事業者の種類

事業セグメント

プレイヤーとマネーフロー

※今回支援対象事業者



地域ヘルスケア産業支援ファンドの機能

従来の
中心的な施策

地域ヘルスケア
産業支援ファンドの役割

背景

支援対象

医療機関
介護事業者

医療機関
施設介護事業者
周辺事業者
異業種事業者

地域包括ケアシステム構築を見据え、在宅化・民間サービス
拡充の流れが加速。地域単位で、業種の枠を超えて、
健康寿命延伸サービスを**一体提供する必要あり**

支援内容

資金支援

資金支援
+
経営人材投入

専門人材の集合体であるヘルスケア産業においては
新たなヘルスケア事業を成長させるのに不可欠な
経営人材が不足しており、地域ヘルスケア産業支援
ファンドがヘルスケア産業に**知見ある経営人材を集中投入**

事業者の
資金需要

不動産
(建て替え・耐震化等)

事業運営資金
(人件費等)

新たなヘルスケア事業は、**人件費を中心に**、事業を
成長させる資金全般が必要となる

資金支援
の形態

補助金

融資

出資

成長期は**事業が不安定**であり、かつ労働集約的事業
のため**担保になる資産も不足**。一定のリスクを許容できる
出資形態での資金支援が必須となり、
地域ヘルスケア産業支援ファンドが**出資機能**を提供する

地域ヘルスケア産業支援ファンドの投資テーマ

地域包括ケア

在宅の高齢者・患者・要介護者が地域で必要とするサービスを創出

→投資事例(1)

→投資事例(2)

補完サービス

公的保険を補完する民間サービスを創出

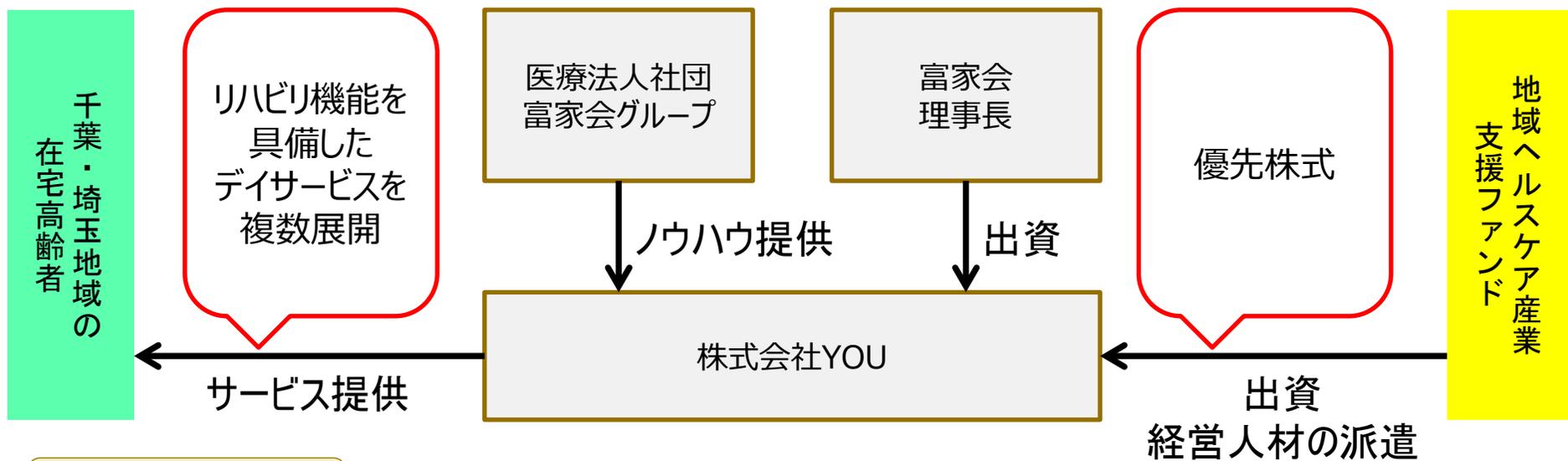
民間サービス

新たなヘルスケアサービスを創出

投資事例（1） 10月3日公表

地域包括ケア

在宅の高齢者・患者・要介護者が地域で必要とするサービスを創出



事案の特徴・意義

- 地域で一層の整備が望まれるリハビリ機能を提供できるデイサービスを複数整備・運営
- 順次施設数を拡大
- 安定的な事業運営を行う富家グループの療養型医療機関としてのノウハウを活用

投資事例（2） 10月3日公表

地域包括ケア

在宅の高齢者・患者・要介護者が地域で必要とするサービスを創出



事案の特徴・意義

- 関東を中心に看護師による在宅ホスピスが可能な訪問看護ステーションを施設整備
- リハビリ機能を具備したデイサービスをFC展開で整備
- 機能強化型訪問看護の人材教育を図り、ヘルスケア産業事業者へノウハウの提供を図る